

【寄稿】

## 企業の社会的責任

### ～ 品質安全と実践から得たチームワークの構築 ～

キヤノン株式会社 品質本部 渡部 利範



2007年に創業70周年を迎えるキヤノンは、カメラを起業としているので、当初からグローバル企業のDNAがあったと言えるかも知れません。故賀来社長は、マスコミに先立ち1980年代、すでに【共生、グローバル】の言葉を発していました。

キヤノンは、デジタルカメラ、ビデオ、複写機等の事務機、および半導体製造機器、放送機器等の産業機器も製造・販売しており、7つの事業本部から構成されております。製品の品質は、会社の顔であり、製品の安全性は、品質の基本です。

安全性のポリシーは【法規制の遵守と実質安全の確保】であり、25年前から、本社部門と事業部の連携による地道なチームワークで成し遂げてきました。

具体的には、法規制や業界水準を越えた電気回路の保護部品の実用化、世界18カ国の家屋のコンセントへ侵入する過電圧や雷の調査、それに耐える電子部品の開発です。それらは、高品質のキヤノン製品に大きく貢献しています。

キヤノンの活動の基本は、経営者が導く方針に全部門がベクトルを合わせることもありません。たくさんの部門との協同で行うことは、必須です。その時、キヤノンの全社員を支える心構えは、【三自の精神】です。自発、自治、自覚の言葉は、初代社長である故御手洗毅が創作した言葉です。

例えば、かなり困難な仕事に挑戦する場合を想定しましょう。

- ①自ら進んで難しい課題に挑戦します【自発】。
- ②それぞれが自分の役割を認識して、積極的な活動を行います【自覚】。
- ③メンバーは、自分の役割を達成するため、計画を遂行します【自治】。

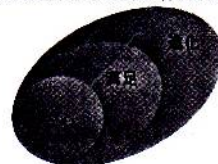
このようなステップで、一つの仕事を丁寧に仕上げて行きます。一つ一つは小さくても、ベクトルが合っていれば、大きな成果(例、品質、社会的責任)に結びつく可能性があるのではないのでしょうか。

製品の安全性は、品質の基本

### Canon Quality

安心・満足そして進化

キヤノンは、お客様に安心と満足を感じていただける品質を  
お客様と共に創造し、お客様と共に持続的な繁栄を目指します



法規制の遵守と実質安全性の確保



実質安全性: 法律や条例などをベースに実際のお客様の立場を想定して安全性を確保すること。

### 三自の精神

- 自発: 何事も自ら進んで積極的に行います  
自治: 自分自身を管理します  
自覚: 自分が置かれている立場、役割、状況を良く理解します